

2019 年度も職員の行動指針をもとに、国際協力に関心のある・参加する人にスポットを当てた活動を展開しました。

FUNN 職員行動指針

「人と世界をつなぐ」

「国際協力に関心があり、世界を知りたい・行動したい・サポートが欲しいと思っている人たち」に向けた活動。世界で起こる問題と私たちの暮らしとの関係性、私たちにできる関わり方や、必要な知識とスキルを伝えていく事で、国際協力への次の行動や選択肢を見つけることができる人を増やしていく。そうした人々が加盟団体につながることで、活動の活性化、発展を促す。

「NGO に関わる人と人をつなぐ」

「加盟団体の理事・職員・支援者・参加者」に向けた活動。同じ国際協力に関心を持つ人や、似た環境にある人同士や世代を超えた関係性をつくり、お互いの学びの場や居場所と感じられる場を提供する。加盟団体における個人同士のつながりを生み出すことで、組織間の協力を促進する。

「NGO と他セクターをつなぐ」

「NGO と、企業・教育機関・行政などの他セクター」に向けた活動。セクター間の協働への関心を引き、具体的な事例を紹介し、連携に向けてのアドバイスを行い、NGO と他セクターのつながりを生み出す。協働の可能性と力を広げていくことで、NGO の社会的基盤づくりを促進する。

事業報告 目次

1	2019 年度事業別報告	
1-1	NGO の活動や運営に関する支援	2
1-2	国際協力に関する調査・提言	4
1-3	国際協力に関する情報・学習機会の提供	8
1-4	NGO 活動に関する人財育成	15
1-5	NGO 間及び各種団体との連携促進	16
2	組織	
2-1	組織運営・体制	17
2-2	会員	18

1. 2019 年度事業別報告

1-1. NGO の活動や運営に関する支援

1-1-1. 2019 年度の方針

情報提供と組織・能力強化支援を中心に、団体活動の活性化を目指します。

1-1-2. 2019 年度の活動

① 加盟団体の資金調達、NGO 活動強化に資する情報の提供

■ 情報提供や人材紹介

○実施内容

ウェブサイト、メール、機関紙等を通して、NGO 関連情報や助成金情報の提供、人材・ボランティア紹介などを行いました。また F U N N 独自で情報収集を行い、メール等による配信・案内を行いました。

○成果

前年度同様、2019 年度は九州地域 NGO 活動助成金事業を加盟団体から九州 7 県の団体に広げて公募を行っています。その結果、福岡より 4 団体、北九州市より 1 団体、佐賀県より 1 団体、鹿児島より 1 団体の応募がありました。なお F U N N が得られる助成金情報については随時加盟団体へ配信しました。

② 広報活動の支援

■ 情報の発信

○実施内容

ウェブサイト、ホームページ、SNS、メールマガジン、機関紙などを通して、加盟団体をはじめとした NGO の情報を市民に発信を行いました。

○成果

加盟団体から依頼を受けた情報については滞りなく配信することができました。

③ NGO の組織・能力強化の支援

■ 九州地域 NGO 活動助成金（真如苑共催）

宗教学法人真如苑との共催で加盟団体及び九州全域の NGO を対象にした助成金プログラムを企画、実施しました。

○実施内容

宗教学法人真如苑との共催で、対象を加盟団体から九州地域に広げて助成金事業を企画、実施しました。7 団体からの応募があり、半公開方式のプレゼンテーションと審査会を実施した結果、6 団体の事業が採択されました。

○応募受付期間：2019 年 6 月 15 日（土）～7 月 22 日（月）

○審査会日：2019 年 8 月 18 日（水）

○採択団体と事業

・芭蕉繊維研究会

ミャンマーにおける糸芭蕉の栽培及び芭蕉繊維の回収・利用事業準備

・（特活）トゥマンハティふくおか

職業性ストレス簡易調査票（57 項目）多言語化事業



▲ 審査会の様子

- ・ (特活) エスペランサ
ギニアビサウ共和国におけるソナック中等学校の図書室とパソコン室整備
- ・ (一社) モザンビークのいのちをつなぐ会
モザンビーク共和国農作物備蓄倉庫用地の外壁敷設
- ・ (一社) ミドリゼーションプロジェクト
宮脇方式で森林再生 東アンマンの乾燥地調査
- ・ (特活) ISAPH(アイサップ)
ラオス国保健医療サービス体制強化事業 (カウンターパート研修)



▲芭蕉繊維研究会ミャンマーでの芭蕉繊維の取出作業の様子

○成果

前年度同様、FUNN加盟団体及び九州地域の団体へ公募対象を広げて行いました。支援を受けた団体は助成金を有効に活用し、各プロジェクトを効果的に進めることができました。

■ NGO等提案型プログラム

○実施内容

JICA「NGO等提案型プログラム」は3年目となり、引き続き集合研修を実施しました。2月以降からは各団体の活動内容を把握するために藤井大輔氏(九州国際大学 現代ビジネス学部 准教授 / FUNN 副代表理事)によるヒアリングを実施中です。

▼参加8団体

- フレンズ国際ワークキャンプ九州 (FIWC 九州)
- 特定非営利活動法人 ISC 糸島スポーツクラブ
- JOFA 日本オリジナルフラワー協会
- 認定特定非営利活動法人 じゃっど
- 特定非営利活動法人 ピーステクノロジー
- 一般社団法人 ミドリゼーションプロジェクト
- 特定非営利活動法人 愛未来
- 特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会



▲集合研修の様子

▼ヒアリング実施団体

- 特定非営利活動法人バングラデシュと手をつなぐ会：2020年2月19日
- フレンズ国際ワークキャンプ (FIWC 九州)：2020年3月25日
- 特定非営利活動法人 ISC 糸島スポーツクラブ：2020年3月26日
- 一般社団法人ミドリゼーションプロジェクト：2020年4月8日
- 特定非営利活動法人愛未来：2020年4月17日

1-2. 国際協力に関する調査・提言

1-2-1. 2019 年度の方針

NGO のネットワークとして、NGO や市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組みます。

1-2-2. 2019 年度の活動

① 国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動

■ 2019 年度 NGO・外務省定期協議会 ODA 政策協議会

○実施内容

2019 年度は今後の開発協力政策をめぐる協議の実質化や CSO と ODA のさらなる協力関係の可能性について意見交換が行われています。他方、モザンビークの開発案件にともなう人権侵害の問題についても継続的に議題化されていますが、NGO と外務省のあいだでは主張の平行線が続いており、今後いかなるかたちで協議が進展できるかが課題です。なお、2020 年 3 月 12 日に開催予定だった第 3 回 ODA 政策協議会は、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、外務省国際協力局民間援助連携室と NGO 側コーディネーターの協議の結果、中止となりました。

・各回詳細の報告事項・協議事項は以下の通りです。逐語の議事録は外務省ホームページで公開されています。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page23_001276.html

○各回詳細

1. 第 1 回 ODA 政策協議会

2019 年 7 月 23 日（火） 14:00～16:00 外務省南 893 国際会議室

報告事項

- (1) 女性・平和・安全保障に関する行動計画（第 2 版のご報告）と評価報告書について
- (2) G20 外務大臣会合へ向けた東海地域市民社会の取り組み
- (3) 特定秘密の指定における ODA 関連情報等の取り扱いについて

協議事項

- (1) 開発協力政策の策定スケジュールと政策協議の実質化について
- (2) 5 月 31 日付プロサバナ事業に関する NGO 側からの報告と要請に関する協議

2. 第 2 回 ODA 政策協議会

2019 年度 12 月 12 日（水） 14:00～16:00 外務省南 893 国際会議室

報告事項

- (1) 2019 年度外務省予算要求に向けた ODA 関連の重点事項について
- (2) DAC 開発協力対日相互レビューの実施

協議事項

- (1) CSO（市民社会組織）を通じた ODA のあり方について
- (2) モザンビーク市民社会リーダー殺害と ODA 事業

3. 第3回ODA政策協議会

新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため中止となりました。

■市民社会スペース NGO アクションネットワーク(NANCiS)

○実施内容

引き続き構成団体として参画し、担当理事の高橋が世話人（共同代表）として、おおよそ1回/月の世話人会に出席しています。2019年度は全国のNGOに対して市民社会スペースの減少に関するアンケート調査を実施したほか、主に以下の活動を行いました。

2019年7月23日 18:00-20:00（東京・表参道）

市民社会スペースNGOアクションネットワーク(NANCiS)2周年記念「市民社会スペースは、いま」-地域・世界・これからに向けて-

2019年8月5日

あいちトリエンナーレ2019「表現の不自由展・その後」中止と日本の市民社会スペースの減少を憂慮する（声明）

2019年10月5日

あいちトリエンナーレ2019に対する文化庁の補助金不交付決定の撤回を求めます（声明）

2019年12月4日

香港情勢に対するNANCiS緊急声明

2019年2月10日・11日（神奈川・相模原市）

「SDGsゴール16と国際協力NGO：市民社会スペースをめぐるネットワーク形成の成果と課題」研究会 開催協力（青山学院大学 SDGs 関連研究補助制度）

2019年3月27日

紋別アイヌ協会の先住民族としての権利を求める行動に賛同

2020年4月8日

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言について（声明）

2020年度も緊急対応マニュアルの整備や国内外の情報発信を強化し、市民社会スペースの確保に取り組んでいく予定です。

■NGO非戦ネット

○実施内容

国際協力に関わるNGOや、グローバルな観点から市民活動に関わる市民社会組織による安保法制案や戦争政策に反対するための継続的で緩やかなネットワーク団体であるNGO非戦ネットの活動に賛同し、メー

リングリスト等による情報共有を行いました。

○成果

各種の関連イベントの情報共有が行われました。引き続き情報共有のために参加する意義はあると考えられます。

■ 連携推進委員会

○実施内容

今年度は全国9名となった連携推進委員が、NGOと外務省との連携によりNGOの強化につながる方策を協議してきました。

○各回詳細

1. 全体会議 6月5日(火) 14:00～16:00 外務省南国際大会議室893号室

議 題：(1) 平成30年度定期協議会振り返りと令和元年度定期協議会の重点協議事項
(2) 今年度年度開発協の取り組みについて

2. 第1回連携推進委員会 7月18日(木) 14:00～16:00 外務省南国際大会議室893号室

報告事項

(1) OECD統計「市民社会組織への、および市民社会組織を通じたODA」増額に向けて
(2) 日本NGO連携無償資金協力の事業成果

協議事項

(1) NGO活動環境整備支援事業・NGO事業補助金の現状と今後の課題
(2) 「日本NGO連携無償資金協力」の2018年度成果と2019年度協議の重点
(3) 「NGOとODAの連携に関する中期計画」4年次の進捗状況、これまでの4年間の成果と課題、次期5か年連携中期計画策定に向けて

3. NGO側委員会・集中会議 10月11日(金) 11:00～18:00 (特活) ワールド・ビジョン・ジャパン

議 題：(1) 全国NGOアンケート結果の共有
(2) 連携推進委員会体制、賛助会費
(3) 次期連携中期計画について

4. 第2回連携推進委員会 11月28日(木) 14:00～16:00 (特活) ワールド・ビジョン・ジャパン

報告事項

(1) OECD開発援助委員会(DAC) 開発協力対日レビューの実施
(2) 開発・人道分野における性的搾取・虐待及びセクシャルハラスメントに関する最近の動向
(3) 草の根・人間の安全保障無償資金協力 本邦NGOによるフォローアップ事業
(4) 日本NGO連携無償資金協力の手引きの改定
(5) NGO活動環境整備支援事業・NGO事業補助金アンケート結果報告
(6) NGOによる高リスク地域への邦人渡航に関する協議の進捗

(7) 北東アジアSDGsフォーラム参加報告

協議事項

(1) 「NGOとODAの連携に関する中期計画」時期連携計画について

5. 第3回連携推進委員会 3月、外務省にて開催予定のところ、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言のため開催中止

6. 連携推進委員会タスクフォース 外務省会議室（スカイプ参加）

日付：9月6日（金）、1月9日（木）、3月4日（水）

参加者：連携推進委員、外務省国際協力局民間援助連携室

内容：（1）連携推進委員会・事前打ち合わせ

（2）NGO-国際機関連携強化に関する質問・意見交換

（3）民連室N連手引き改定案について連携推進委員会からのコメント

（4）その他

○成果

昨年に引き続き全国の82団体からの意見集約を実施し、それをもとに連携推進委員会・タスクフォースにおいて、外務省との協議が進みました。

日本NGO連携無償資金協力における一般管理費15%が実現したことにより、議論はその他の課題へと移ってきています。

■ 2019年度 NGO-JICA 協議会

○実施内容

NGOとの対話と連携を促進するため、NGO-JICA協議会は設置されています。対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するため、意見交換を行っています。2019年度は年1回開催、専門的・集中的な議論が必要な場合は分科会を設置しています。2019年度はコーディネーターを行いました。

第1回 NGO-JICA 協議会 2019年9月18日（水）14：30～17：30 JICA 竹橋ビル多目的会議室

報告事項

(1) 昨年度の分科会最終報告（草の根技術協力事業における質の向上）

(2) 新規事業アイデア公募企画 JICA Innovation Quest の紹介

(3) 諸外国のPSEAの取組み・NGOセーフガーディングワーキンググループの取組み共有

(4) 環境社会配慮ガイドラインレビュー調査パブリックコメント募集のお知らせ

(5) 個別の取組み状況・今後のスケジュール（草の根技術協力事業、NGO等活動支援事業）

協議事項

1. 2019 年度 NGO-JICA 協議会の実施方針
(多様なアクターとの連携・裾野拡大等を目指した地域での協働の方向性・可能性)
2. CSO を通じた ODA のあり方について
※Civil Society Organizations (市民社会組織) の略

○成果

NGO と JICA の連携に係る最新情報や、NGO 等関係者とのネットワークづくりの場になりました。

1-3. 国際協力に関する情報・学習機会の提供

1-3-1. 2019 年度の方針

潜在層・関心層の掘起こしや、層の中や外がつながるための場づくり・工夫に取り組み、国際協力の活性化を目指します。

1-3-2. 2019 年度の活動

① 国際協力に関する情報の提供

■ 国際協力ニュース

○実施内容

国際協力や NGO・加盟団体・FUNN の活動の情報発信ツールとして、4 回各 700 部を発行しました。年 6 回の発行予定でしたが、4 回のみ発行となりました。

○成果

加盟団体、個人会員、地域 NGO/NPO、教育機関、行政等の施設に配布しました。2019 年度は加盟団体のインタビューを実施し各団体活動についての記事が対外的にアピール出来るよう重視しました。加盟団体それぞれの活動を理解・知ってもらえる機会になったと思います。2020 年度継続してインタビューを行います。

■ メールマガジン「Fun ! Fan ! FUNN !」

○実施内容

FUNN や加盟団体を中心とする NGO のイベントやボランティア情報などを掲載し行動のきっかけとなるメールマガジンを目指します。発行は隔週水曜日に発行しました。

■ ウェブサイトと SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)

○実施内容

ウェブサイトと Facebook、Twitter などのツールを連動し、FUNN や加盟団体のイベント、活動情報を提供しました。

○成果

最新情報の収集と提供を意識して取り組むことができました。各種広報媒体を見てイベント等に参加をした市民もいました。

2019年3月31日～2020年3月31日の登録者数の推移

Facebook	566→768	いいね
Twitter	696→716	フォロワー
ウェブサイト	9,616→12,750	UU(ユニークユーザ/年)
メールマガジン	401→※	登録者

※2020年1月、配信プラットフォーム melma!がサービス終了。会員情報システム sales force を使った配信に切り替えることに。利用規約上、メルマガ会員の引継ぎはできなかった。現在、128の宛先へメールを配信中。

② 国際協力に関する学習機会、参加の場作り

■ 倶楽部 FUNN

○実施内容

国際協力に対する理解を深め、国際協力に関心のある市民が出会い・交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場を開催しました。

開催日	タイトル	講師	参加者数
4月12日(金)	親日な台湾～その過去、現在と未来～	王 貞月	15名
5月17日(金)	『食』の可能性～アフリカのマラウイで感じたこと～	木原悠希	17名
6月7日(金)	「カラムディ村に恋した私」から看護師と歯科医師の支店からみたバングラデシュ	河村富美子 田島 寛	12名
7月5日(金)	「SDGsも幸福度も世界2位のデンマーク教育とは」～人間関係良好の秘訣～	長阿彌幹夫	23名
8月2日(金)	「フィリピン貧困村でのワークキャンプ」	永吉 彩桜	15名
9月13日(金)	「チベットの遊牧民と教育」	ゲレッジ	20名
10月4日(金)	「あなたの近くのインドネシア人」	弥栄睦子	15名
11月15日(金)	「フィリピンでの森作り」～オイスカの取り組み～	安東 幸太郎	12名
12月13日(金)	中村哲さんを偲ぶ会		18名
1月10日(金)	「ウガンダの村落部で働くということ」	安村大樹	13名
2月14日(金)	「カリブの夢」	黒岩春地	14名
3月・4月(金)	コロナウイルス感染症の為中止		0名



▲10月の様子



▲2月の様子

○成果

国際協力に関心がある市民の参加機会を提供する入門編の事業・交流の場として開催し計174人が参加しました。NGOへの理解・交流の場として参加促進につなげることができました。

■NGO 合同説明会

○実施内容

国際協力を知りたい、NGOの活動に参加したいという大学生を対象に、講座とNGOのブース出展を組み合わせたイベントを西南学院大学と連携して実施しました。また本説明会に出展した団体が企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生へ参加費補助を行う仕組みが設けられました。

●日時：6月5日（水）15:15～18:00

●会場：西南学院大学百年館（松緑館）多目的ホール

●出展8団体：（特活）エスぺランサ、（一社）国際教育交換協議会、（特活）バングラデシュと手をつなぐ会、NPO法人NICE、フレンズ国際ワークキャンプ九州、（一社）ボランティアプラットフォーム、（一社）ミドリゼーションプログラム（特活）NGO福岡ネットワーク

●参加者：80名



▲NGOごとの個別相談



▲NGOについての基本的な説明時の様子

○成果

ボランティアや国際協力に関心の高い学生が福岡のNGOと出会い、実際に現場の話を聞くことができ良かったと好評でした。初の試みとしてヨルダン現地からスカイプで参加をしてくれたことで現地の様子を肌で感じる機会ができ、新しい刺激となったことは大きな成果になったと思います。合同説明会に出展したNGOが企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生に対して、西南学院大学から参加費の一部補助を行う制度も実施されました。

■第2回SDGs勉強会

○実施内容

教育文化研究所代表「SDGs ランキング 1位幸福度 2位のデンマーク～その土台をなす質の高い教育の現場とは～」をテーマに話をさせていただきました。

- ・日時：2019年10月13日（日）13時～17時
- ・場所：福岡市 NPO ボランティア交流センター「あすみん」福岡市中央区今泉 1-19-22

参加費：2000円

- ・講師：長阿彌 幹生（ちょうあみ みきお）氏
- ・参加者：42名



▲長阿彌氏による講演の様子

○成果

昨年第1回の勉強会では「外国人労働問題を考える」について取り上げました。今年度は第2回の勉強会としてSDGs目標4：「質の高い教育をみんなに」を取り上げました。日本の子どもたちが幸せになるには、どのような教育が必要とされているのか幸福度が高いデンマークの教育現状を学びました。後半ではワークショップを行いながら参加者同士が日本の教育について議論し意見を交わす場になりました。

■第19期NGOカレッジ「あなたのそばにあるSDGs～知り、考え、行動する～」

国際協力に関心のある市民を対象にNGOの活動や世界課題の現状等を知り、自ら出来ることを考える学習の場として実施するFUNN主催の連続講座です。第19期は「あなたのそばにあるSDGs～知り・考え・行動する～」をテーマにして実施しました。



▲チラシのメインイメージ

○第1回目：ゲームで学ぶSDGs（持続可能な開発目標）～わたしが「起点」となる世界～

ゲーム「2030SDGs」を通して、経済・環境・社会が繋がっている事を体感します。

グループごとに対話を重ねながら振り返りの時間を持ちます。私たちの日常生活が世界の課題とどのように繋がっているかについて、事例を挙げながら説明します。

- ・日時：2019年11月9日（土）13:00～17:00
- ・講師：亀井直人氏（「SDGs推進ネットワーク in 九州」）
- ・会場：西南学院大学コミュニティーセンター会議室
- ・参加者：23名

○第2回目 貿易ゲームで体感する貧困と買う～「私たちにできることは？」

貿易ゲームを通じて、貧困や格差を巡る現状を体感するとともに、課題解決に向け取り組みについて

考えます。さらに一歩進んで、「私たち」にできることはどのようなことなのか？について考えるワークショップを行います。「支援」「援助」と漠然とした言葉や「寄付」「食べ残しをしない」などという自分の努力だけでなく仕組みを踏まえた解決に向けた取り組みについて考えます。



▲貿易ゲーム実施時の様子

- ・日時：2019年11月16日（土）13：00～17：00
- ・講師：藤井大輔氏（九州国際大学現代ビジネス学部准教授）
- ・会場：西南学院大学コミュニティーセンター会議室
- ・参加者：21名

○第3回目 SDGsで地方創生～私たちの暮らしと世界のつながり～

私たちの生活が、どのように世界の人々に影響を及ぼしているのかを食を通じて理解を深めます。私たちの暮らしを少し見直すことにより、グローバルな課題解決へとつながっていく可能性についても考えます。住民主体のまちづくり、ゴミ・環境問題、食育など私たちの身の回りの課題が世界とどのようにつながっているのかをワークショップで深めます。

- ・日時：2019年11月23日（土）13：00～17：00
- ・講師：神田浩史氏（NPO法人泉京・垂井理事）
- ・場所：西南学院大学コミュニティーセンター会議室
- ・参加者：23名

○第4回目 世界の貧困といのちを考える～自らの命は自らで～

先進国と言われる日本の医療の問題点を掘り下げながらバングラデシュやインド・ケララ州のコミュニケーションから学ぶものを探ります。もしバナゲーム（もしものときの話し合い）を通じていのちの終わりを意識したときに大切にすることを考えるワークショップを行います。

- ・日時：2019年11月30日
- ・講師：二ノ坂保喜氏（（特活）バングラデシュと手をつなぐ会代表）
- ・場所：西南学院大学コミュニティーセンター会議室
- ・参加者：29名

○第5回目 特別講演「世界の平和をつくる取り組みについて考える」

第1部 講演「故郷から逃れ、生き抜く人々」

今なお内戦が続くシリアで出会った子どもたちや、こうした紛争や迫害が続く中から、日本に難民として逃れてきた人々の声を伝えます。

第2部 対談「安田菜津紀氏×二ノ坂保喜氏」

公正・公平の実現や地域の人々の暮らしから市民が果たす役割とは何か、海外の紛争や災

害についてお二人に対談してもらいます。

- ・日時：2020年1月25日（土）14：30～16：30
- ・講師：安田菜津紀氏（フォトジャーナリスト）
- ・パネラー：特定非営利活動法人 NGO 福岡ネットワーク代表
- ・会場：西南学院大学コミュニティーセンターホール
- ・参加者：211名



▲安田菜津紀氏と二ノ坂代表による講演会

■外務省「NGO 相談員」

○実施内容

外務省 NGO 活動環境整備支援事業「NGO 相談員」を受託し、市民・企業・行政・教育関係からの NGO や国際協力に関する相談業務を行いました。

○成果

年間相談件数：528 件（18 年度 604 件）

出張サービス件数：7 件（18 年度 7 件）

S N Sリーチ数：40960（18 年度 5140）

多様な市民・学生・NGO 関係者から相談に応じることが出来ました。相談内容としては NGO の設立・組織運営に関する相談に応じてきました。また団体運営やマネジメントの悩みを持つ団体関係者などの相談も応じてきました。九州ブロックでの認知度を上げるために JICA デスク推進員会議に参加させてもらい NGO 相談員制度について説明を行いました。

■NGO 相談員「出張サービス」

○実施内容

市民などからの相談対応を通じた国際協力の理解促進を目的に、国際協力関連のイベントなどにおける相談対応や相談員制度の認知度を積極的に行いました。2019 年度は 6 件の出張サービスを実施しました。

日程	企画名	場所
2019 年 4 月 16 日 (火)	JICA 九州及び九州内国際協力推進員への NGO 相談員制度の周知	JICA 九州
2019 年 8 月 24 日 (土)	NGO に関わる課題を共有したのち、インターン生 が解決の糸口を検討する。	西南学院大学
2019 年 9 月 16 (月) 17 日 (火) 20 (金) 21 日 (土) 22 日 (日)	青年海外協力隊 シニア海外協力隊写真展 & 個別相談会へのブース出展	アクロス福岡 1 階コミュニケ ーションエリア
2019 年 10 月 21 日～	「さがインターナショナルバルーンフェスタ」へのブース	佐賀県佐賀市嘉瀬川河川

11月4日(月・祝)	出展	敷
2020年1月29日(水)	JICA九州及び九州内国際協力推進員へのNGO相談員制度の周知	独立行政法人国際協力機構(JICA)九州センター
2020年2月7日(金)～2月13日(木)	福岡市役所ロビーにおけるパネル展での相談ブース	福岡市役所1Fロビー
2020年3月11日(水)3月18日(水)3月25日(水)	NGO相談員制度 広報のためのラジオ番組企画	LOVE FM パークサイドスタジオ(ソラリアプラザビル1F)



▲さがインターナショナルバルーンフェスタにて



▲福岡市役所1Fでのパネル展

○成果

イベントへの出展や九州各県の国際交流協会・国際協力推進員との連携の働きかけを行ってきました。目的としては①地域の国際協力の状況と現状の把握、②NGO相談員事業の積極的紹介、③NGO相談員受託団体との連携、④国際社会への興味・理解の促進の4つです。出張サービスのレポートはSNS(Facebook)へ掲載し、相談員制度の認知度向上に向けての理解促進を今年度は積極的に行ってきました。その結果各県のJICA推進への認知度が進み、2020年度は出張サービスへの積極的な活用の期待をしています。

■ 講師派遣・講演登壇

○実施内容

大学の講義や小・中・高校での総合学習の授業、市民・他団体の取組や企画にFUNN職員や加盟団体を派遣、派遣依頼の調整を行いました。



▲九州国際大学での出張講義

日程	授業・企画名	主催者/依頼者	場所	参加者数
7月1日(金)	国際協力実践論	藤井大輔 准教授	九州国際大学	約50名

ほか、加盟団体の派遣3件

1-4. NGO 活動に関する人財育成

1-4-1. 2019 年度の方針

FUNN や福岡の国際協力活動の発展に資する人材の確保・育成のための活動に取り組みます。

1-4-2. 2019 年度の活動

① 人材確保・育成の為の施策

■ ボランティア

○実施内容

国際協力や NGO の活動に関心のある方を FUNN のボランティアとして受け入れました。NGO 相談を通して「ボランティアをしたい」という市民への相談にも応じ、加盟団体の活動紹介や仲介などを行いました。

○成果

国際協力ニュースの発送作業やイベント時のブース手伝いなど協力をいただきました。

■ インターンシップの受け入れ

○実施内容

インターンシップ生を 4 名受け入れました。

名前	期間	派遣元
山田ほのか さん	8/8～9/29	NPO 法人ドットジェイピー
角なつき さん	8/8～9/29	NPO 法人ドットジェイピー
岩田宗太郎 さん	2/1～3/28	NPO 法人ドットジェイピー
今泉友希 さん	2/1～3/28	NPO 法人ドットジェイピー

○成果

NPO 法人ドットジェイピーの成果発表会で準優勝(山田・角)、3 位(岩田・今泉)となりました。

国際協力ニュースの制作、SNS の運用、SDGs 教材の作成、ラジオ番組の出演などに関わっていただきました。



▲成果発表会の様子



▲ラジオ番組出演時の様子

1-5. NGO 間及び各種団体との連携促進

1-5-1. 2019 年度の方針

国際協力の理解促進、発展、社会的課題の解決を目指して、NGO と NGO を繋ぎ、NGO とは異なるセクターを繋ぐことによる相乗効果を目指しました。

1-5-2. 2019 年度の活動

① ネットワークの構築

■ ネットワーク活動

○実施内容

(特活) 国際協力 NGO センター、(特活) 関西 NGO 協議会、(特活) 名古屋 NGO センター、独立行政法人国際協力機構九州国際センター、JICA 国際協力推進員、(公財) 福岡よかトピア国際交流財団、福岡国際関係団体連絡会 (FUKU-NET)、(公財) 福岡県国際交流センター、福岡県 NPO・ボランティアセンター、福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」、福岡市人権啓発センター「ココロセンター」、福岡 NPO 共同事務所「びおとーぶ」、佐賀県国際交流協会、おおいた国際交流プラザ、長崎県国際交流協会、熊本市国際交流会館、宮崎県国際交流協会、鹿児島県国際交流協会など FUNN が加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換・連携促進を図りました。

また、『持続可能な開発のための教育』を推進する「地域 ESD 推進拠点」に登録し、地方センターのパートナーとして、他の地域 ESD 拠点とも連携し、各地域・各分野で取り組まれる ESD をさまざまな形で支援することで、「ESD 推進ネットワーク」の中で中核的な役割を果たすことが期待されています。

○成果

関係機関とは日常的に連絡を取り合ったり、各施設を定期的に訪れることで、お互いの相談に応じたり、面での連携が実現するなどの良好な関係を構築することができました。

2.組織

2-1. 組織運営・体制

役員

【理事】

二ノ坂保喜／（特活） Bangladesh と手をつなぐ会 代表 [代表理事]
藤井大輔／債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表、九州国際大学現代ビジネス学部 准教授 [副代表]
楠原圭子／アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム 事務局 [副代表]
高橋良輔／青山学院大学地球社会共生学部教授
原田君子／（特活） NGO 福岡ネットワーク 事務局長
本田正之／（NPO法人）循環生活研究所スタッフ
瀧本昌平／賛助会員
安村 妙／ JVC 九州ネットワーク

【監事】 安部昌明

事務局

【事務局長】 原田君子

【事務局スタッフ】 住本大輔、山田英行、佐々木健一、岩本直子（会計）

【連携推進担当】 河上雅夫

- 通常総会：2019年5月12日（日）福岡NPO共同事務所「びおとーぶ」共同大会議室
- 通常理事会：毎月1回
- 事務局会議：毎週1回火曜日

2-2. 会員

正会員（全 24 団体）

(特活)ISAPH
アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム
(特活)アジア女性センター
認定 NPO 法人 ACE
(特活)エスペランサ
NGO Earth for Children
(特活)九州海外協力協会
債務と貧困を考えるジュビリー九州
佐賀 NGO ネットワーク
JVC 九州ネットワーク
(特活)じゃっど
認定 NPO 法人ソルト・パヤタス
認定 NPO 法人地球市民の会
チベットを知る会
NPO 法人トゥマンハティふくおか
(特活)NICE
国際協力 NGO NESTEP
ネパール歯科医療協力会(ADCN)
(特活)バングラデシュと手をつなぐ会
PP21 ふくおか自由学校
福岡 Y M C A
フレンズ国際ワークキャンプ九州
(一社)ミドリゼーションプロジェクト
モザンビークのいのちをつなぐ会

※年度途中までの正会員（1 団体）

(特活)明日のカンボジアを考える会（2019 年 12 月 31 日退会）

個人会員

賛助会員（個人） 14 名
賛助会員（団体） 0
賛助会員（企業） 0
通信会員 14 名

※2020 年 3 月 31 日時点